

伊勢 朋矢 監督作品

かいじゅう

ススムトコロニエガアツテ
サガルトコロニモエガアツテ
ドコヘニゲテモエニオワレ
ボクハタブン
エニクイツブサレルダロウ

画家 西村一成



映画「かいじゅう」
2024年 / ドキュメンタリー / カラー / 101分
制作・配給 Planetafilm 監督 伊勢 朋矢

僕は日々ひたすら絵を描きつづけている。
呼吸し、食べ、排泄し、眠るのと同じようにだ。

線は僕の肉体の延長としてうねり、
色は僕の精神の明滅を激烈に映し出す。
それは世界との直感的な交錯によって瞬発的に繰り出される。
描きあげた末に僕は疲れ果てて倒れ込む。
そのとき絵は、僕と不可分な、一人の人間のナマの姿だ。
しかし決して個人的な表現として完結はしない。
人は抗うことのできない天変地異の世界を生き抜いているが、
いかに時空的に隔たっていようと、
その波動は今ここに伝わってくる。
僕にできることといえば、その波を感受し、祈ることしかない。
だから僕の絵の中に彫り出される図像は、
祈らずにいられない根源的衝動が形づくる現実だ。
どんな状況であれ、人はこの世界を必要としている。
僕も日々ひたすら世界を感じつづけている。
僕自身と、そして誰かの生のために。

切実に生まれつづける絵々は、
唸り声と掻き鳴らされたギターのままにまにまに
うっとり身を委ねている。
「私たちの人生っていったいなんだらう」
これほどまでに雑音のないドキュメンタリーを
見たことがない。

内田也哉子 (文筆家)

かいじゅう

画家 西村 一成 Nishimura Issei

1978年生まれ、愛知県在住。西村一成は甥っ子や姪っ子から「かいじゅう」と呼ばれている。独学で絵を描き始めたのは20歳の頃。自宅できに唸り声をあげながら、キャンパスに絵の具を塗りたくり、独白記のごとく日々絵を描く。シェル美術賞、FACE損保ジャパン日本興亜美術賞ほか多数入賞・入選。

【画家・西村一成 一年の記録】

初めて会ったとき、一成さんは「午前中なら調子がいいから、大丈夫かもしれない」と言った。夕方は苦手らしい。不安になるという。だから最初は「午前中の1時間くらいだけ撮影してみましようか」そんな約束をして別れた。
あれから一年、僕(伊勢 朋矢)は西村家に通い続けた。午前中1時間だけの撮影は、2時間3時間……と伸びていった。カメラはただただ回り続け、西村一成の日常は1本の映画になった。映画のタイトルは一成さんの甥っ子がつけたあだ名にした。

『かいじゅう』 監督・撮影 伊勢 朋矢

(映画『日日芸術』、Eテレ『no art, no life』)



出演 | 西村 一成

音楽 | ロケット・マツ (バスカルズ)

撮影応援 | 水野 宏重 音声 | 永峯 康弘 音響効果 | 細見 浩三 ダビングスタジオ | 小田 卓
カラーグレーディング | 山口 登 オンラインエディター | 森泉 洋平 監督助手 | 種木 咲楽
制作デスク | 加藤 明香 広報 | 唯野 浩平 宣伝アート | 遠藤 郁夫 デザイン | 森岡 貴貴
プロデューサー | 牧野 望 伊勢 真一 編集 | 太田 一生 監督・撮影 | 伊勢 朋矢

制作・配給 | Planetafilm

[問合せ] Planetafilm Tel. 03-6455-3366

Mail. space@planetafilm.co.jp

https://planetafilm.co.jp



上映情報

8/10(土)~16(金)名古屋シネマスコールにて上映

全国共通特別
前売券発売中 1,400円
当日鑑賞券 1,700円 一般(税込) 1,300円 大学・専門(税込) 1,200円 シニア(税込) 1,100円 障がい者(税込)

JR名古屋駅太閤通口・ビックカメラ南西角
シネマスコール
052-452-6036

シネマスコール
(水色のビルが目印)
名鉄三河
ミストピア
名鉄三河
ビックカメラ
本町通口エスエス地下街
三井銀行
五反田
華洲超級
電影中心